

大竹シルバーだより

第40号

平成28年9月15日

発行所

(公社)大竹市シルバー人材センター

会員数 男 315人
女 204人
計 519人



三階堂和美さんと夏休み「チビッコサロン」へ参加した子どもたち

第三十五回 定時総会を開催

去る六月十日(金)、サントピア大竹にて、構成会員五百二十四名中、四百七十二名(出席者百九十名、委任状提出者二百八十二名)の出席のもとに、第三十五回定時総会を開催しました。

理事長の挨拶に始まり、ご来賓の入山欣郎大竹市長、児玉朋也大竹市議会議長よりご祝辞をいただき、議長に、玖波地区の石角英記氏を選出。続いて議事録署名人に、元町地区の竹林和彦氏と三ツ石地区の中村ひとみ氏を選出して審議に入り、いずれの議案も原案通り可決承認されました。

原案通り可決された議事

報告事項

○第一号報告

平成二十八年度事業計画の件

○第二号報告

平成二十八年度収支予算の件

○第三号報告

平成二十七年事業報告の件

議決事項

○第一号議案

定款変更の件

○第二号議案

平成二十七年収支決算承認の件

会計監査報告

○第三号議案

役員(理事)の一部選任の件

○第四号議案

理事長に対する権限委任の件
定時総会終了後には、歯科医師春日将謹氏による歯と嚙下の関係に関連したご講演をいただきました。

今年度も「自主・自立・共働・共助」の理念の下にシルバー人材センター事業の更なる発展と地域社会に密着し、期待され、喜ばれるセンターづくりを目指して、一層の努力を傾注して参ります。

皆様の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。



入山大竹市長の祝辞

永年会員表彰受賞者

定時総会に先駆けて、永年会員表彰が行われ二十四名の皆さんが受賞されました。

《十年経過》

山田 光雄	横山 道恵	清水 成彦
升田 泰子	津田 勝子	野田 曉美
南 弘二	小川 雪江	角田 不二男
増井 桂	中本 富士子	岡本 孝子
関元 脩孝	関元 芳枝	佐伯 寿美子
石坂 嘉彦	佐伯 達夫	村山 健剛
渡辺 定	米田 吾郎	林 和正
山本 竹敏	龍野 利明	松浦 鋭子

(順不同 敬称略)



10年表彰を受賞された出席者の皆さん

安全スローガン優秀作品表彰

続いて、平成二十八年度の安全スローガン優秀作品表彰者十二名が表彰されました。

最優秀賞

「あせらず 無理せず 油断せず
心引き締め安全作業」

会員 川岡 昭秋

優秀賞 3作品

「これくらいと
手を抜く作業が 事故を呼ぶ」

会員 手嶋 末市

「若くない 足下しっかり確認し
意識集中 事故は無し」

会員 斉藤 章子

「気を抜くな 事故は
時なし・場所なし・予告なし」

会員 梶田 信三



代表して表彰を受ける山田会長

佳作 8名

会員 佐伯 英二	会員 宇野 和彦
会員 本名 隆史	会員 松本 博己
会員 森本 忠雄	会員 石角 英記
会員 大上 桂子	会員 佐古三代喜



安全スローガン表彰を受賞された皆さん

この総会で就任された役員

理事 米中 和成 氏

この総会で退任された役員

理事 正木 丈治 氏

理事長挨拶



松崎 和生

平成二十八年度大竹市シルバー人材センターの定時総会の開催にあたり、一言、ご挨拶申し上げます。

会員の皆様方には、多数ご出席いただき、ありがとうございます。

また、入山市長をはじめとするご来賓の方々には、公務ご多忙の中にもかかわらず、ご臨席を賜り衷心より感謝申し上げます。

初めに、先の熊本・大分地方の地震災害では、私共の仲間であります熊本・大分両県のシルバー人材センターも大きな被害を受けております。これら被害に遭遇したシルバー人材センターには一日も早い復興を祈念し、お見舞いを申し上げます。

さて、本日の定時総会では、平成二十七年に係る事業報告、収支決算、平成二十八年度の事業計画、収支予算、定款の一部改正等の七議案を提案させていただいております。

いずれも、大竹市シルバー人材センターを運営する上で、重要な議案であります。十分なるご審議をいただき、ご承認を賜りたいと思っております。最後までよろしくお願い申し上げます。

私事ですが、理事長職を拝命して一年が経過しました。責任の大きさを痛感し、不安なスタートでしたが、会員の皆様のご理解とご協力により、ほぼ計画通りに事業を展開す

ることができました。また、収支については収支相償の原則が貫かれた決算ができました。少し安堵しているところですが、会員の皆様に改めて感謝申し上げます。

今、全国のシルバー人材センターが抱えている大きな課題は、会員の増大、就業機会の拡大、安全な就業体制の構築にあります。大竹市シルバー人材センターでも同様でして、この問題の解決のために頑張っているところではないかと思っております。幸い、当センターにおいては、会員数は、前年度末に比べ十二名増の五百十一名となりました。就業機会のバロメーターである契約金額は、請負・委任事業が減少しましたが、派遣事業が伸びましたので、前年度に比べ、千六百七十万円の増額となりました。

また、会員の皆さんのご尽力により、就業中における重篤事故や通勤途上での交通事故等も発生しませんでした。

高齢社会の一層の進展により、六十五歳定年制が定着する中での会員増、厳しい経済状況の中での契約額の増ですが、これに満足することなく、今後も会員の増大、就業機会の拡大、安全就業体制の構築の課題解決に一步でも前進する努力を重ねたいと思っております。会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。

次に、拠点施設の整備について、これまでの経過とお願いをしたいと思っております。

シルバー人材センターを安定して運営・維持するためには拠点施設は必要です。現在の拠点施設は、ご存

じのように旧公害監視センターです。土地は狭小ですし、建物は建築から五十年弱経過し、老朽化している上に狭隘であります。また、耐震構造にもなっておりません。拠点施設に必要な、休憩室、食堂、相談室、工作作業室、事務室、駐車場等も不足しております。

拠点施設として、こういった問題がありますので、昨年十一月に、入山市長、児玉市議会議長へ、拠点施設の整備についてお願いする要望書を提出させていただきました。

この要望につきましては、市長さんをはじめとする執行部、議長さんをはじめとする議員の皆様にもご理解をいただき、ありがとうございます。改めて、関係の皆様方にお礼申し上げます。

要望の際に申し上げさせていた



総会風景

きましたが、大竹市シルバー人材センターは公益社団法人です。会計は、黒字もなく赤字もない収支相償を原則とされており、黒字になりませんので、民間の企業のように、それを内部留保するお金はありません。また、黒字が見込めませんので、信用保証協会の保証が得られないため、金融機関は、土地や建物の取得のためであっても長期のローンには応じてくれません。

一方では、法律に基づいて、高齢者の就業を図るために全国に設けられた組織です。国や地方公共団体が立案する高齢者の就業に関する政策は、シルバー人材センターが、その実施機関としての役割を果たしております。一億総活躍社会の実現プログラムにおいても、高齢者のパワー組織として組み込まれています。さらに、シルバー人材センターが行っております請負・委任事業、独自事業、派遣事業は、高齢者の知識や経験を活かして、地域社会や地域経済を支える社会貢献を目的としています。特に派遣事業は、民間の経済活動の一部を担うことを目的にはじめられた事業です。と説明させていただきました。

シルバー人材センターは、高齢者にとつては経済的な効果よりも、生きがいづくりの場、健康維持のための場として求められている。ことなどをとお話しさせていただき、早期の拠点施設の整備をお願いしたところでありです。

大竹市の財政が大変厳しいことは十分に承知している上で、お願いに上がりましたが、関係者のご理解を



総会風景

いただき、今、このことについての協議を担当部署とはじているところであります。

会員の皆様には、ご理解をいただき、実現のために力の結集をお願いするところでもあります。

入山市長さん、児玉市議会議長さん、大竹市シルバー人材センターは地域社会の発展のために、会員は就業を通して社会貢献に努めますので、早期の拠点施設の整備をよろしくお願いいたします。

最後は、市長さん、議長さんへお願いとなりましたが、以上で、平成二十八年定時総会の開催にあたっての挨拶とさせていただきます。

元気で明るく大竹市シルバー人材センターにするため、みんなで頑張ります。

平成27年度 事業実績

《年度別実績比較表》

年 度	会 員 数	受 注 件 数	就 業 実 人 員	就 業 延 人 員	契 約 金 額 (単 位 : 円)			対 前 年 度
					請 負 ・ 委 任 契 約	派 遣 契 約	合 計	
平成25年度	499人	2,431件	494人	56,495人	222,743,351	52,094,834	275,438,185	
平成26年度	499人	2,449件	456人	53,001人	219,702,073	57,690,953	277,393,026	100.7%
平成27年度	511人	2,280件	504人	56,772人	223,574,371	70,540,307	294,114,678	106.0%

《地区別会員数》

地区別	大 竹	小 方	玖 波	栗 谷	松 ヶ 原	合 計	入 会 者	退 会 者
男 性	143	112	48	9	3	315	26	18
女 性	115	61	15	3	1	196	23	19
合 計	229	173	63	12	4	511	49	37



シリーズ 就業先紹介

水道検針業務

会員 末田 栄代

二十二年三月にあったセンターの入会説明会に軽い気持ちで友達と行きました。一通りの説明の後、「とりあえずシルバーに登録しておこうかなあ。」という程度の思いで四月から会員の仲間に入っていたできました。

そんなことで、直ぐに仕事を始めるつもりはありませんでしたが、前職が検針業務に関わっていたことから、水道の検針業務を進められ、お受けしました。

検針業務は大竹市では年間六期に分けられ、二月、四月と、偶数月の二ヶ月に一回、月初めの十日間程度で行います。

仕事に「綺麗な仕事」「楽な仕事」はありません。水道検針ではありませんでしたが、多少は検針業務の経験はありましたが、やはり、最初は苦労します。電気やガスのメーターの設置場所は家屋の当たりもつけやすい場所にあります。水道のメーター器の場合、家は、家屋があっても敷地内にあるメーターの位置が判らず、最初は、何度も探さなければなりません。しかも、家を改築や建直されてメ



ーター器の位置が変わっている場合や田畑の場合は家人に聞くことも難しいです。ようやくそれらしい物を見つけても、草や砂で「かくれんぼ」状態、お客様によって訪問日時を前日に電話で伝えておかなければならない場合や、メーター器の上に障害物(車)が置いてあったりして、メーター器の蓋を開けてみれば、ナメクジ、アリ、ゴキブリの巣状態も珍しくはありません。

私は、お客様の身になって、使用量が普段より異常に多くなっているのか、漏水や故障がないか、確認してできる限りお伝えするよう心掛けています。

感謝され、苦情をお聞きする事もあります。が、「ご苦労様」と声を掛けていただくと、やりがいを感じて嬉しくなります。

この仕事のお陰か、体も元気でボケ防止にも効果があるので、はいかと思いつながら、毎回、頑張っています。

会員の声

入会してよかった

会員 中村ひとみ

私は、退職後に自宅で野菜作りや草取りをしていました。そんな折り、シルバー会員の方が「草取りが好きな収入にもなるシルバーセンターへ入会したら。」と入会を勧めてくれました。

これまで、日々をなんとなく過ごすだけの生活でしたので、四月に説明会を聞きに行きました。

自分の体力に不安があつて、入会しようか迷いましたが、センターの方の「自分のペースで仕事をして下さい。」との言葉にも励



まされ、五月にシルバー人材センターへ登録しました。

朝七時二十分にセンターへ顔を出し、沢山の方がいるのにびっくりしました。初めての除草作業では、先輩方が親切に沢山のことを教えて下さり、作業道具もこんなに沢山あるとは思いませんでした。本当に嬉しかったです。

今では、仕事に行くのがとても楽しいです。

シルバーに入会して新しく知り合えた仲間と、張り切つて、頑張つて、健康であることを感謝しながら、活躍したいと思つています。

会員になって

会員 阿部 隆介

ある日、ばつたりと以前勤めていた会社の先輩と出逢い、シルバー人材センターで、第二の人生を楽しく過ごしている姿に、うらやましくもあり、私も入会したい気持ちになりました。

早速、入会の手続を終え、元氣な高齢者の仲間入りを果たしました。現在は、センターの運営するレストランの仕事で、昼食のお弁当を配達する仕事を週に二三日行っています。シルバーセンターには、働くだけでなく、色々なサークル活動や互助会活動もあり、先日も互助会主催の山陰（三朝温泉一泊二日）の旅行に初めて



参加し、会員仲間ととても楽しく交流を図りました。

仕事に関しては、お弁当をお届けするだけと簡単に考えていましたが、従事して見ると中々大変です。お届けした際に必ず安否確認をさせてもらっています。「こんにちは、お弁当をお届けに上がりました。」「毎日、暑いのにご苦労様です。」こんなやり取りの中で、体調を崩していないだろうか、変わりはないさうだなと、気にかけています。そんな気持ちに通じるのか、毎日楽しみに待っていてくれる様子にこちらも親孝行をしているかのような気持ちになります。

これから、仕事は安全第一、人生は健康第一を忘れずに、元氣で楽しく大竹市シルバー人材セン

ター発展のために微力ですが、頑張つて行きたいと思ひます。よろしくお願い致します。

入会してみたら

会員 中野 一正

私は、シルバー人材センターに入会して一年になります。

きっかけは、近所のシルバー会員の方の勧めで入会しました。

シルバー人材センターでは、決まった就業先へ仕事に行く形態の仕事は望まず、自分の都合の良い日に仕事をする形態で就業をしています。

従つて、除草作業や草刈り仕事为主体の仕事になります。決まった所へ行く仕事は収入等もそれに頂けませんが、自由気ままに気の合った者同士がする仕事も結構楽しいです。

この仕事は考えていたよりも大変でして、最初は膝や腰が痛くて体がついてゆかず体力の衰えを痛感しました。

今では、体も馴れ、仲間から色々なアドバイスも頂戴しながら張っています。今思うに、家での自由気ままな生活も悪くは無いと思います。何らかの目的を持つて過ごすことがこれから、特に高齢者には大事なような気がします。これからの体の続く限り頑張りますのでどうかよろしく願ひします。

会員 研修旅行

久保田征四郎

一班、六月三十日(木)～七月一日(金)、二班、七月七日(木)～八日(金)、各班ともにバス一台での山陰「三朝温泉」一泊の旅で、私は一班に参加した。

当日は、曇り空でしたが幸い雨は降らず、山陽道、中国道、米子道と経由して、岡山県北部の蒜山高原センターへ到着。

早速、名物のジンギスカンの昼食をいただく。広い店内には特産の乳製品などの産品や土産物が所狭しとばかりに並んでいる。この施設には、屋外に遊園地が併設されており、国内でも有数の放牛場などと共に、標高五百メートルの風光明媚な高原リゾート地であった。

参加した会員の皆さんも食欲旺盛でほとんどの方が完食。お肉の苦手な一部の人は名物のおこわ定食を召し上がっていたがこれも完食状態。「互助会の旅行は食事が最高。」の前評判通りの結果に互助会役員の私も一安心。ジャージー牛の濃厚なソフトクリームに舌鼓を打ちつつ次の目的地へ向かう。

鳥取二十世紀梨記念館「なしっこ館」は、鳥取県の名産である「梨」のテーマ館である。円形ド

ームの建物内に放射状に枝が広がる二十メートルの二十世紀梨の原木が展示されている。今は展示物となっているが現役時代には、毎年四千個の梨を実らせていたらしい。昭和初期から梨の一大産地となるまでの苦勞の歴史を、映像と人形ロボットで紹介され、三品種の梨の試食後、梨の栽培技術など十カ所以上の色々の展示コーナーを自由に見学する。

倉吉には、江戸、明治の風情ある建物が多く、昭和の名横綱「琴櫻関」の出身地でもあります。また、白壁の町並は、「国の重要伝統的建造物群保存地区」に選定されていて、近年は、かつて造り酒屋、醤油屋などの白壁の建物を今風な地酒、物産等の土産物店や洒落たカフェなどに改装して観光に役立っている。

風情ある建物に入店し、建物の内部、販売商品などを見学しながら一時を過ごした。

十六時頃に宿泊地の開湯八百五十年となる三朝温泉の宿「三朝館」へ到着。本湯は世界屈指のラドン含有率を誇る天然温泉で、効能は新陳代謝が活発になり美容、健康効能が高いとのこと。早速入浴、浴場に設けてあった飲める温泉水も飲み、心身共にをリフレッシュした。

宴会では鳥取牛のステーキなどで祝杯を傾け、カラオケが始まる



「鳥取花回廊」で大山をバックに記念写真

と、最高に盛り上がり楽しいひと時を過ごしました。

翌朝九時出発、車窓から大山、日本海などの風景を眺めながら、「道の駅」に立ち寄り、特産物の買い物を楽しみながら境港の「水木しげるロード」へ。ここには、JR境港駅前の八百メートルの通りに、漫画家「水木しげる」氏(昨年十一月九十三才没)の漫画キャラクターに出てくる妖怪「ブロンズ像」の百五十三体が通りの両側に展示されている。人気の妖怪像は沢山の観光客が触るので、

黒光りしてそれなりの雰囲気醸成しているなかなかの迫力だ。商店街の鬼太郎グッズ等を楽しんで次へ移動。

日本最大級のフラワーパーク県立の「鳥取花回廊」で昼食、その後、園内を自由散策。入場口から一周十五分で園内主要スポットを巡る観覧車「フラワートレイン」もあったが、一周一キロメートルの屋根付展望回廊を歩く、途中には世界の珍しい百合が展示してあるブーシや胡蝶蘭の咲く大温室等があつて、外にも出られて、広大な花園のラベンダーやサルビアの咲き香るゾーンの花、植物などを鑑賞した。一日の入場者は多い時約四千人、少ない時千人、千五百人とのこと。又維持、管理人約五十名とのことであつた。ちなみに後で知ったが園内で作業していたのは、地元の(公社)南部広域シルバー人材センターの会員の方であつた。さすがシルバー、色んな所で地域貢献しているのだと感心した。梅雨明けが待ち遠しい時期にもかかわらず二日間とも雨にも合わず、素敵なガイドさんにご案内いただいたながら、山陰の名所、道の駅など楽しく巡り、癒され清々しい思いで庄原ICから帰路につく。久し振りに出会う会員とも交流・親睦を深められ、見聞した貴重な体験をシルバー事業に活かしたいものである。

福祉まつり・シルバーフェアへの 出品協力について

福祉まつりのバザー部門並びに元町コミュニティサロンで第九回シルバーフェア「おおたけ」を開催する予定です。

つきましては、本年も会員の皆様ご自慢の手作り作品をご提供下さい。

平成二十八年十月二十三日(日)に開催予定の福祉まつりには、クッション、エプロン、小物入れ等の手作り作品を販売しますので、十月二十日(木)頃までに交流サロンか事務局へ届けて下さい。

十二月に予定しているシルバーフェア大竹にも、前述の手作り品に加え、農産物(米・野菜、果物等)、漬物等の加工品、もどりむすび等の販売コーナーへの出品をお願いします。出品期日については後日ご案内致します。

ご協力お願い致します。



昨年の開会セレモニー

企業・発注者の皆様へ

シルバー人材センターでは経験豊富な高齢者が、請負、派遣により、お仕事を承っております。是非ともお気軽にご依頼・ご相談下さい。

センターのメリット

- ◇必要なとき(特定の時期・期間、時間)にのみ、人員を確保できる。(デパート・配送業者の中心・歳暮時期等)
- ◇人員を募集するための手間や経費がかからない。(求人広告費用、採用面接に係る手続等)
- ◇人員の雇入れに係る手間や経費がかからない。(賃金支払い、社

お知らせ

平成二十九年版 会員手帳の頒布案内

今年も平成二十九年版の会員手帳の予約を受け付けます。

価格は大竹市シルバー人材センターの名入りで、市販の手帳と比較すると約半額の二百八十円です。

会員の皆様お一人お一人にぜひお持ちいただきたい手帳です。



会・雇用保険手続き、ローテーション管理等)

シルバー派遣の強み

- ◇人員の確保が難しい早朝、夕方、土日、短時間等の仕事に人員を派遣することができる。(保育施設での早朝・延長預かり、介護施設の朝夕の送迎、スーパーマーケットでの早朝の品出し、仕込み等)
- ◇組み合わせ就業(現役世代の労働者が一人で行う仕事を、複数人がローテーションして就業すること)を行うことにより、人員の確保が難しい仕事(単純な作業を繰り返し実施するもの等)に、人員を派遣することができる。また、

安全標語の募集

シルバー人材センター事業は、働く意欲のある高齢者が働くことを通じて自らの福祉を実現してゆくことが主旨であり、就業中または途上の事故の発生はもとより、事故の不安を抱くような就業の撲滅を目指しております。

つきましては、本年もシルバー事業による事故の撲滅、防止を呼びかけるための安全・適正就業に関する標語を募集します。

募集期間

平成二十八年十月一日(土)から

就業予定者に急用ができた場合でも、代わりの人員を派遣することができます。

◇職業、社会経験の長い高齢者を派遣するため、着実に仕事を行うことができる。(社会常識を備え、休まず(病気等のやむを得ない場合を除く)真面目に働く者が多い。)

◇高齢者と共働し、社会貢献していることをアピールすることができ、企業のイメージアップにつなげることができる。

◇高齢者の就業支援に実績のある公益的なシルバー人材センターが派遣を行うため、安心して利用できる。

募集対象

平成二十八年十一月三十日(水)まで

シルバー人材センターの会員

入賞及び賞品

- ・最優秀賞 一点 賞品五千円相当
 - ・優秀賞 三点 賞品三千円相当
 - ・佳作 八点 賞品二千円相当
- なお、作品はセンターの安全標語カレンダーに使用します。

応募方法

- ・一人何作品でも可とします。
- ・未発表作に限ります。
- ・事務局へ各自が提出して下さい。



釣り同好会 福田 文男

毎日暑い日が続いています。この厳しい暑さにも負けないように、睡眠は十分に取って、健康管理に努めていただきたいと思います。

さて、釣り同好会の活動をご報告致します。五月に予定していた船釣りは、週末になると天候が悪化する状態が続き、残念ながら中止しました。

尚、恒例のバーベキュー大会は、七月二十三日(土)に、松崎理事長、松本事務局長もお呼びして、総勢十八名で、大竹港沖の無人島、可部島で開催しました。午前中は会員の持ち船に同乗し、各自船釣りを楽しみ、十二時よりバーベキュー(宴会)の開始、熱い砂の上を跳ねながら、よく冷えたビールで乾杯。焼き肉、焼きそばで大いに盛り上がりました。

飲めば飲むほど、酔えば酔うほどに釣りの話題は盛り上がり、昨年の阿多島の海上釣り堀「大漁丸」での釣果が話題になります。

折角食わせた大物を連続三回も逃がしたKさんは、今でも歯ざりして悔しがり、それを肴に宴も盛り上がりました。

そこで今年も、釣り同好会のメ

インイベントでもある阿多田島海上釣り堀「大漁丸」の大物釣り大会と海の家大宴会を開催します。

十月二十九日(土)～三十日(日)の一日泊二日の開催で参加者を募集しています。

詳細は

①釣り堀のみの参加

②釣り堀と海の家一泊の参加

③海の家一泊のみ

以上、この三コースがあり、好きなコースに申し込んで下さい。

そこで釣りをされる方に一言。

釣り堀「大漁丸」では魚が掛かった時のあの強烈な引き、「取り逃がしてたまるか!」悪戦苦闘のやり取り、大物を釣った時の身震いする様な満足感を心おきなく味わえます。

ちなみに昨年は青物の当たり年で、釣果は四十センチもありそうな大鯛を全員釣り上げ、四十五センチのシマアジ、八十センチのハマチ・カンパチを半数の参加者が釣り上げています。

海の家での一泊は釣り上げたシマアジ、カンパチ、タイを生き作りにし、本名料理長による鯛めし、潮汁、バーベキュー、焼きそば等を肴にギンギンに冷えた吟醸酒で一杯、至極の刻を満喫できます。

皆様ぜひ参加して見ては如何でしょうか。お待ちしております。

編集後記

二〇〇三年(平成十五年)、祝日法の改正で「敬老の日」が九月第三月曜日となり、九月十五日から二十一日までのいずれかの日となっているが、老人福祉法では今でも九月十五日が「老人の日」であり、その後一週間が老人週間と定められている。

敬老の日は多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日に対し、老人の日は国民の間に広く老人福祉について関心と理解を深めるとともに、老人に対し、自らの生活向上を努める意欲を促す日とされている。

シルバー人材センターは、これまで高齢者が職業生活からの引退過程において、生きがいを持つて社会参加ができるよう地域社会に密着した就業の場を提供してきたが、会員となり得る年齢層が増加しているにも関わらず、会員は減少傾向になっていきます。

これは、企業における継続雇用の進展などが背景にあると考えられるが、高齢者が生きがいを持つて充実した生活を送れることは、健康状態の維持・介護予防の観点から、また社会経済の活力維持にも繋がることから、会員の増強等を中心に紹介させていただきました。



三階堂和美さんの説法を聞く子どもたち

十月にシルバー事業普及啓発月間として「シルバーの日」と称した清掃ボランティア等の普及啓発行事が計画されているようです。大勢の皆様のご参加をお待ち申し上げると共に、会員増強には格別のご支援・ご協力を下さいますようお願いいたします。

広報委員一同